

平成20年度 一般会計 予算

市債 (9.4%)
106億280万円

県支出金 (4.6%)
51億7,128万9千円

国庫支出金
129億
1,824万6千円
(11.4%)

地方交付税
195億3,300万円
(17.2%)

譲与税・交付金 (5.0%)
57億512万7千円

その他(繰入金など)
63億7,016万8千円(5.7%)

諸収入 (5.3%)
60億2,827万9千円

市税

(市民税
固定資産税
軽自動車税など)

469億
4,509万
1千円
(41.4%)



日々感じるしあわせを大切に

予算

平成20年度

厳しい財政状況でも、
しあわせ実感の秋田市に

平成20年度の一般会計予算額は1132億7400万円。19年度に比べ0.1%の増となりました。厳しい財政状況がこれからも続くと考えて、すべての事務・事業を見直し、特に、市民サービスに直接影響がない行政内部の経費は徹底して削減しました。一方、産業関連、中心市街地関連、安全安心関連の3つについては、市の重要施策と位置づけ、できるだけ優先して予算を配分しました。

歳入 市税が4億円の増

市税は、家屋の新増築などにより固定資産税が前年度より約4億円増える見込みです。地方交付税は前年度に比べて約11億円の減。市債は、公的資金の繰上償還に充てる借り換え分の約13億円を含み前年度より約16億円増えます。

なお、財源不足を補てんするため、基金から約19億円を取り崩して、歳入に繰り入れしています。

依存財源(47・6%)

自主財源(52・4%)

借入金および国などから交付される財源
市税や使用料、手数料など、自主的に収入できる財源



今年もいろんな事業があるネ！

歳入

特別会計と企業会計

秋田市には、特定の事業の収入を直接その支出に充てるため、一般会計と区別した特別会計があります。今年度スタートした後期高齢者医療制度に伴う会計が創設され、全部で12になりました。

また、3つの公営企業会計もあります。

企業会計予算 468億8,426万円

会計別	平成20年度予算
病院	104億 599万9千円
水道	132億5,925万5千円
下水道	232億1,900万6千円



後期高齢者医療制度で
これからも安心して受診

特別会計予算 582億4,266万7千円

会計別	平成20年度予算
土地区画整理会計	16億3,591万2千円
市有林会計	1億6,418万9千円
市営墓地会計	6,514万8千円
中央卸売市場会計	6億 909万4千円
農業集落排水会計	12億9,609万8千円
大森山動物園会計	4億2,599万1千円
廃棄物発電会計	1億7,438万6千円
国民健康保険事業会計	287億2,379万9千円
老人保健医療事業会計	28億2,723万5千円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	5,726万7千円
介護保険事業会計	191億7,768万5千円
後期高齢者医療事業会計	30億8,586万3千円

1,132億 7,400万円

その他 77億5,947万 1千円 (6.8%)	その他 65億2,100万9千円 (5.8%)
補助費等 118億 9,621万7千円 (10.5%)	商工費 59億803万7千円 (5.2%)
物件費 136億 9,760万1千円 (12.1%)	衛生費 81億9,696万円 (7.2%)
繰出金 73億3,574万 1千円 (6.5%)	教育費 114億 7,152万5千円 (10.1%)
投資的経費 107億7,053万 7千円 (9.5%)	総務費 136億 6,165万7千円 (12.1%)
公債費 167億 8,613万 3千円 (14.8%)	公債費 167億 8,813万 3千円 (14.8%)
扶助費 203億 6,524万 7千円 (18.0%)	土木費 181億 236万 2千円 (16.0%)
人件費 246億 6,305万 3千円 (21.8%)	民生費 326億 2,431万 7千円 (28.8%)
(性質別) 歳出	(目的別) 歳出

- 性質別歳出の内容**
- ・ 扶助費…生活保護費、福祉医療費、児童扶養手当など、おもに福祉や医療に支出するお金
 - ・ 公債費…市の借金を返済するお金
 - ・ 投資的経費…道路、公共施設建設など、将来市民の財産となるものに支出するお金
 - ・ 繰出金…国民健康保険事業や介護保険事業など、ほかの会計に支出するお金
 - ・ 物件費…消耗品費、光熱水費、委託料など
 - ・ 補助費等…補助金、報償金など
 - ・ その他…貸付金、積立金など

歳出 投資的経費が11億円の増

性質別に見ると、人件費は職員数の減や給与改定などにより、前年度より約6億6千万円減りました。扶助費は保育所定員の増加などにより約2億円増えています。公債費(借金返済)は、過去に高金利で借り入れた公的資金を繰上償還することなどにより、約8億6千万円増えています。

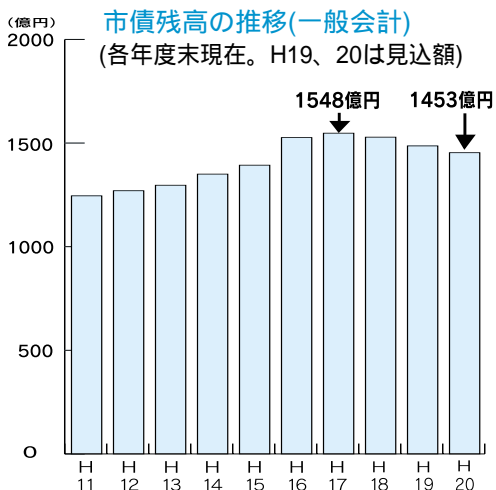
投資的経費は、西部地域市民サービスセンターの建設や新屋の市営住宅の建て替えなどにより、前年度に比べて約11億7千万円増えました。

市債のはなし

健全な財政運営を行うため、近年は、市債(市の借金)の発行を抑えながら予算を組んでいます。

今後も返済額より市債の発行額を少なくして、残高を減らす計画です。

市債残高の縮減に取り組んでいます!





輝く笑顔がみんなのしあわせです

しあわせ実感 緑の健康文化都市

「産業経済の振興」と「家族・地域の絆きずなづくり」を2大テーマとした「第11次秋田市総合計画」が2年目を迎えました。

秋田市の将来都市像「しあわせ実感 緑の健康文化都市」の実現に向けて、20年度は、産業経済の振興、ロシアや中国などとの対岸貿易基盤の確立、家族・地域の絆づくり、中心市街地の活性化、市民協働・都市内地域分権の推進——に、重点的に取り組んでいきます。



秋田港をロシア貿易の拠点に(環日本海シーアンドレール実証実験)

豊かで活力に

満ちたまちづくり

都市の発展と豊かな市民生活を実現していくためには、地域産業の活性化をはかっていくことが不可欠です。産業振興は本市の重点政策です。



半導体の元になるシリコン単結晶を製造するときに使われる容器「石英ルツボ」を生産するジャパンスーパークォーツ株式会社(茨島)。高温・長時間の処理にも耐えられる、高純度の大型石英ルツボを製造し、世界で約6割のシェアを誇っています。



中心市街地の再生が始まります

中心市街地のにぎわいづくり
「秋田市中心市街地活性化基本計画」に基づき、今後5年間、中通一丁目地区市街地再開発事業や買物ポイントによる駐車場無料利用システム導入、仲小路トラム(路面電車またはバス)運行事業などに取り組みます。

【今年度の事業】

- ・ 共通駐車券システム導入の検討 買物ポイントによる駐車場無料利用システム導入の検討経費を補助：125万円
- ・ 中心市街地への出店促進事業 新店舗の建築や空き店舗の入居などに、融資あつせんや助成を行います：9884万円
- ・ 千秋公園の整備 本丸広場の再整備、黒門跡発掘調査のほか、お堀端を散歩しながら休憩できるように、広小路側の水辺に設置するデッキの設計に着手します：3280万円
- ・ 秋田駅に秋田杉のバス乗り場 秋田杉を使って秋田駅西口広

場のバス乗り場の外観を整備します：2000万円
企業集積と雇用拡大をはかるため、工場などの新・増設に助成
：2億8876万円
中小製造業者の設備投資や工業団地用地取得に融資あつせん
：3億9761万円
中小企業の経営基盤の強化をはかるため、長期・低金利の融資あつせん：40億288万円
御所野の新都市産業区用地を市土地開発公社から取得し、新たな事業展開をめざす企業や創業者に分譲・貸付
：1億6144万円

魅力ある商店街づくりを支援
：2270万円
地産地消の推進 農林産物の直売活動を支援し、今後の直売活動の展開方法や施設整備のあり方を調査・検討：163万円
秋田港のにぎわい創出 セリオン(男鹿水族館の観光遊覧船の試験運転やセリオン周辺施設の改修設計：476万円
雄遊力ヌークルージング 国際カヌークルージング場として認定されている雄物川でカヌーなどを活用した観光振興策を探ります：51万円

緑あふれる環境を備えた

快適なまちづくり



将来へつなごたい美しいまち、住みやすいまち(大森山から眺める風景)

「緑のまちづくり活動支援基金」を新設し、市民のみなさんが提案・実践する緑のまちづくり活動を支援します。また、新屋比内町に大規模な市営住宅を建設するほか、斎場改築に向けての実施設計や、し尿処理施設の更新も行います。



お花の季節になりました

緑のまちづくり活動を支援

「緑のまちづくり活動支援基金」を創設し、身近な広場やオープングリーン、散策路、まちなかの生垣、花だん作りなど、市民のみなさんが提案・実践する緑化活動に助成します

：4160万円

新屋比内町に新しい市営住宅
老朽化した市営住宅5団地を統合し、新屋比内町に260戸の市営住宅を建てます。平成20年度は130戸が完成予定です

：15億9899万円

斎場を改築 斎場改築に向け、用地を取得し、建物の設計や火葬炉の選定を行います。完成は23年度の予定です

：1億1926万円

環境貯金を市民に還元 環境に

やさしい料理教室や、生ごみた
い肥作り学習会を開催します

：209万円

道路整備 土崎駅前線、南部中
央線、割山南浜線などの道路工
事のほか、新たに泉外旭川線の
工事に着手します。また、猿田
川端橋の架け替え、学校・病院
などの周辺歩道の改善を行いま
す：36億3403万円

し尿処理機器を新設 老朽化し
た向浜事業所のし尿処理焼却炉
を廃止するため、し渣(し尿に
含まれる異物)を搬出する袋詰
装置を新設：4971万円
水道の配水管整備 災害に強
く、安定した供給を確保するた
め配水管網のブロック化を進め
ます。また、雄和地域への送配
水管を整備します

：18億8100万円

木造住宅耐震改修などに補助
地震に備え、木造住宅の耐震診
断や耐震改修工事の費用に補助
します：300万円

不法投棄対策 不法投棄を防ぐ
ため、監視パトロールを行っ
たり、監視カメラを設置したりし
ます：1106万円

健康で安全安心に

暮らせるまちづくり



笑顔はじける健康ライフ！（ふれあい元気教室で）

雪に強いまちづくり、防犯・交通安全体制、保健、消防・救急体制、介護保険など、子どもから高齢者までみんなが健康で安全安心に暮らせるよう、サービスを充実させます。自殺予防対策にも力を入れて取り組みます。

雪に強いまちづくり 早期除雪に努め、迅速かつ効率的な道路除排雪作業を実施します。除排雪機械を更新するほか、町内会などへ貸与する小型除雪機を購入します。また、老朽化した融雪設備の改修などを行います

：10億1124万円

子どもの安全確保の意識啓発

子どもの安全に関わる内容のリーフレットを全戸配布し、意識啓発をはかります

：223万円

自殺予防対策 新たに臨床心理士などによる心のケア相談を実施するなど相談体制を充実させ、地域での心の健康づくり活動を支援します。また、医療機関や民間団体などと自殺予防ネットワーク会議を開き、総合的な対策を進めます

：350万円

公共施設にAED 市立中学校22校に、突然死の原因である心室細動などに有効なAED（自動体外式除細動器）を配置します

：370万円

特定健康診査・特定保健指導

これまでの基本健康診査が、メタボリックシンドローム（内臓

脂肪症候群）に着目した健康診査に変わります。腹囲測定により内臓脂肪の蓄積状態を確認し、血糖、血圧、脂質の3項目の検査結果に応じて、保健師、栄養士による保健指導を行います

：1億9107万円

がん検診の受診率を向上 各種検診の実施期間を延長し、働き盛りの年代へ個別通知を送るなど、受診率の向上をはかります

：1億8367万円



昨年度行われた自殺予防市民講話会

家族と地域が支えあう

元気なまちづくり

いじめや虐待、家族間での痛ましい事件などが大きな社会問題となつていくなか、家族や地域住民同士のつながりのあり方を見つめ直し、思いやりやふれあいのあるまちの実現に向けて、さまざまな角度から取り組んでいきます。



絆、大切にしたいですね



昨年の絆フォーラム

家族・地域の絆づくりの推進

「きずなでホットしてい」をキヤッチフレーズに、「子ども編」「若者編」「市民編」など、ライフステージに応じて人と人とのつながりを深め、絆の大切さを呼びかけます。絆づくりフォーラムの開催や、若者の対話とふれあいの場の創出などを行い、市民活動の定着につなげていきます。：450万円

(仮称)西部地域市民サービスセンターの建設 市民協働、都市内地域分権の拠点となる、支所、公民館、子育て支援、地域防災



西部地域市民サービスセンター
完成イメージ

などの機能を備えた施設です。平成21年5月オープン予定です。：11億2078万円
(仮称)北部地域市民サービスセンターの設計 平成21年度の着工をめざし、設計や地質調査などを行います。：7251万円
旭南地区コミュニティセンター(仮称)の建設 旭南児童館との複合施設として、旭南地区コミュニティセンターを建設します

：1億6495万円
育児支援の充実 安心して育児ができるよう、生後4か月までの第1子乳児がいるすべての家庭に、助産師が訪問します。また、乳幼児健康診査で、親の心身の健康状態も確認し、必要な支援を行います。：270万円
保育所の定員増 中央・南部・北部地域の私立認可保育所4か所の入所定員を、計105人増やし、待機児童の解消に努めます。：1億2616万円
高齢者にはり・きゆう・マツサージ費を助成 75歳以上のかたを対象に、はり・きゆう・マツサージの受療券を交付します

：1092万円

人と文化をはぐくむ

誇れるまちづくり



スポーツでいきいきライフ！（エンジョイスポーツ・ユニカール）

歴史や文化をいかした魅力あるまちづくりを進めるとともに、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境のなかで、誰もが目標に向かって成長し、希望に満ちた生活を送ることができるよう取り組んでいきます。

高清水の史跡秋田城跡に築地堀、古代水洗厠舎を復元 郷土学習の場や地域資源として活用するため、政庁域の築地堀や古代水洗厠舎（トイレ）を復元します：1億363万円

歴史資料のデータベース化 市民のみなさんに貴重な資料を気軽に見てもらえるよう、寄贈された森川文庫や関係資料をデジタル化します：250万円

児童館などの充実 放課後の子どもたちの安全な居場所づくりのため、金足東小学校と戸島小学校に児童室を新設し、旭南児童館をコミュニケーションセンターとの複合施設として整備します

：1億345万円

小・中・高等学校の耐震診断、耐震補強 地震発生時における安全を確保するため、小・中・高等学校の耐震診断を行います。20年度ですべての学校の診断を終え、必要に応じて、年次計画で耐震補強を行います

：1億1774万円

秋田北中、岩見三内小を増改築 老朽化が著しい秋田北中学校の校舎と体育館の増改築を平成19

年度に引き続き行います。また、岩見三内小学校の全面改築のための設計や地質調査などを行います：12億7521万円

スクールカウンセラーを配置 いじめや不登校などの悩みを抱える生徒と保護者の相談体制を充実させるため、商業高校、御所野学院高校、美短附属高等学校に臨床心理士を配置します

：81万円

ヒロシマ原爆展を開催 戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の大切さ、生命の尊さへの理解を深め、市民の平和意識を高めるため、8月に広島市、（財）広島平和文化センターと共催で、「ヒロシマ原爆展」を開催します

：273万円



宮崎市で行われたヒロシマ原爆展